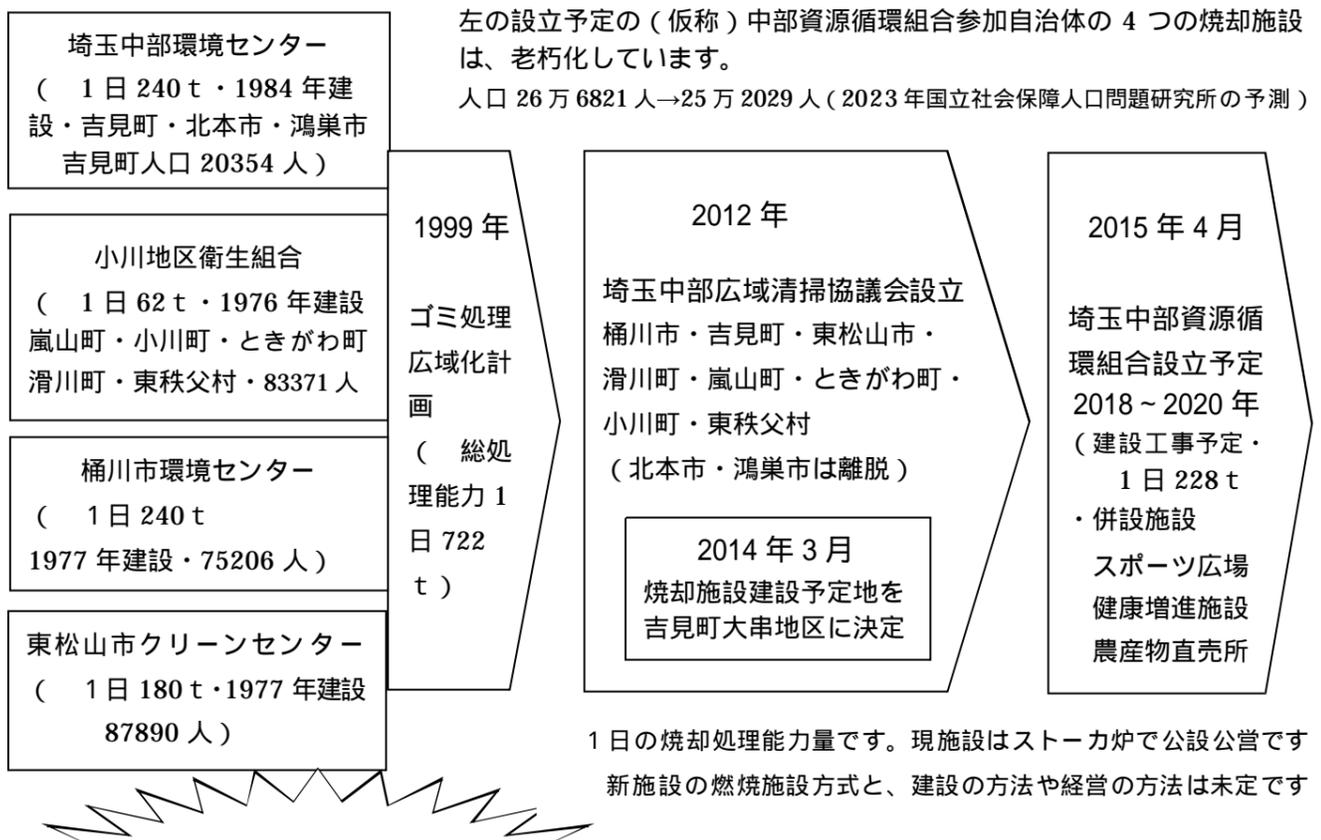


ごみ焼却施設は、必要な施設です。同時に、焼却場の周囲の住民には、健康・土壌・水への害に対しての不安と交通量が多くなること等の負担があります。ごみ焼却施設を吉見町大串地区に建設することが決定しました。30年前の「今後は大串地区につくらない」という約束はどうなるのでしょうか。

(仮称)埼玉中部資源循環組合(H27年4月1日設立予定)の焼却施設を吉見町大串地区に建設することが決定しています。



建設予定地地元から
「焼却場についての再考
のお願い」の文書

平成 26年 6月 10日

「ごみ焼却場についての再考のお願い」(要旨)

吉見町飯島新田ごみ焼却場建設反対代表者

飯島新田の住民の多くはごみ焼却施設建設の予定地大串中山在の地に決定されたので、がっかりしています。現焼却場の建設の裁判所での和解を信じ、できないと思っていました。新焼却施設建設については飯島新田の住民に説明会もされていませんし、住民意見を聞き入れてももらえず怒っております

時期をみて裁判をおこすよう準備を進めております。裁判になると二市五町一村の皆様からの血税の無駄遣いすることになります。議員の皆様はどのようにお考えでしょうか。私たちは吉見町の町民です。なぜ、東二地区だけがいじめられなければならないのでしょうか。30年間吉見町町民のし尿のためといわれ我慢を強いられました。また我慢をしろというのでしょうか。あまりにもひどすぎます。嵐山町の議員の皆さんにももう一度真剣に考えていただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

ゴミ焼却から循環型社会への転換を

厚生労働省には、1日200t以上の焼却炉建設の場合、ゴミ焼却による熱エネルギーや電気利用施設をつくると建設費の25%を補助金交付し、残りは借入でき、借入金返却が交付税に加わり有利な仕組みがあります。



新ごみ処理施設として(2市5町1村)のごみ

1日228tの焼却施設を国の補助金で建設しようとしています。

下の表は各役場から現焼却施設と建設予定施設までの距離と運搬時間比較です

	嵐山町 役場より	小川町 役場より	滑川町 役場より	ときがわ町 役場より	東秩父村 役場より
現小川地区 衛生組焼却場	17分 5.1km	10分 21km	23分 9.6km	21分 9km	23分 10.2km
吉見町大串地 区建設計画地	40分 18.3km	43分 23.5km	33分 14.4km	40分 20.4km	57分 30.7km

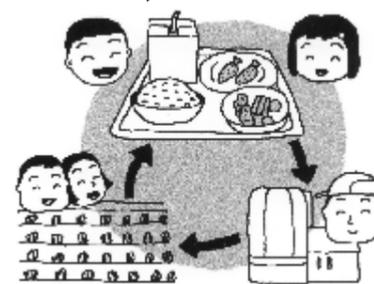
(グーグルマップのルート検索より)

運搬時間は、嵐山町は2.5倍に、小川町は4倍に・・・
ガソリンが多く使われ、CO2の排出量が増えます。1日228t処理能力の大型焼却炉がいいのでしょうか。焼却量を減らし小型焼却炉建設の考え方もあります。

発想の転換をしましょう

新しい仕組み「バイオマス循環の地域づくり」を始めましょう。

燃えるゴミの50%が台所の生ゴミの水分です。
水分を燃焼させてゴミ発電をするよりも



- ①生ゴミを分別収集し、生ゴミや木の枝・天ぷらの廃油、し尿・浄化槽汚泥などを資源として地域で循環させる仕組みをつくり、堆肥や液肥、バイオガスにして、燃えるゴミをできるだけ少なくします。
- ②リサイクルセンターをつくり、リサイクルできるものはリサイクルします。
- ③残った燃えるゴミを小型焼却炉で焼却するほうが環境にも効果的です。

小川地区衛生組合(小川町・嵐山町・滑川町・ときがわ町・東秩父村)は、農地・山林の割合が広い地域です。再生可能エネルギー(熱・電気)で新しい産業と循環型社会をつくることができます。

国にはバイオマス産業都市構想の補助金があります。焼却施設建設の補助金だけでなく、いろいろな制度を活用して、新しい地域おこしとゴミ焼却量減少に挑戦すべきです。

埼玉中部資源循環組合設立の議案の賛否	森一人	大野敏行	佐久間孝光	長島邦夫	畠山美幸	吉場道雄	河井勝久	川口浩史	清水正之	安藤欣男	松本美子	渋谷登美子	青柳賢治
賛成	・反対	×					×	×	×			×	議長